

節電診断実施例

金公園地下駐車場

◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約3,230千円の電気料金(CO₂排出量: 7.5t-CO₂)の削減が見込まれる。
- 投資改善も行うことで年間約2,729千円の電気料金(CO₂排出量: 60.9t-CO₂)の削減が見込まれる。

◆ 主な改善提案

改善提案項目		改善提案内容	削減額 [千円]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
1. 暖房設定温度の引き下げ	運用改善	暖房の設定温度を1℃下げることによって、約10%の空調電力の削減が可能である。	7	0.2
2. 駐車場の換気ファンの運転方法見直し		利用者の少ない時間帯は、給排気ファンを間欠運転することで電力使用量の削減を図る。	314	7.3
3. デマンドの見える化と節電目標の設定	投資	電力使用量の「見える化」ツールとして設置して、節電の目標値を設定する。	122	-
4. 高効率照明への交換		現状の照明機器を高効率機器(LED灯)に交換することで電力使用量の削減を図る。	1,259	29.5
5. 高効率誘導灯への更新		蛍光灯を使った従来の誘導灯を高効率機器(LED灯)に交換することで電力使用量の削減を図る。	142	3.3
6. ファンへのインバータ導入	改善	現状の間欠運転からインバータを導入して、回転数制御により流量を調整することで電力使用量の削減を図る。	605	14.1
7. 換気ファンの能力を見直しして更新		最新の高効率ファンに更新することで電力使用量の削減を図る。	271	6.3
8. その他		<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンのフィルターの清掃 ・高効率空調設備への更新 ・エアコン室外機のフィンの洗浄 	9	0.2
		合計	2,729	60.9

◆ 削減効果の見込み

光熱水費	<p>削減効果: 2,729千円 [千円]</p>	<p>施設内観</p>
CO ₂ 排出量	<p>削減効果: 60.9t-CO₂ [t-CO₂]</p>	
原油換算	<p>削減効果: 32.3kL [kL]</p>	

◆ 他にも適用できる施設例

- デマンド監視装置が未導入の施設
- LED 化の余地のある施設、換気ファンの能力・運転方法の見直し、動力機器のインバータ化、暖房設定温度の引き下げの余地がある施設